

日数	入院当日	手術当日		手術後 1 日目	手術後 2～4 日目	手術後 5～8 日目 (退院日)
		手術前	手術後			
治療・処置			酸素吸入を行い、呼吸管理をします。また心電図モニター・フットポンプもつけます。創部から管が入ります。	朝7時で酸素・モニターを外します。 朝9時頃、医師が創の状態を確認します。	医師または看護師が手術創の処置を行います。	医師が手術創に入っている管を状況に応じて抜きます。
薬・点滴	21時に下剤を服用します。 薬剤師が手術当日の点滴について説明に伺います。	朝9時頃から点滴を開始します。 指示された内服薬があれば指示時間までに内服します。	水分補給のための点滴が続きます。抗生物質の点滴もあります。適宜鎮痛剤を使って痛みをコントロールします。	抗生物質の点滴があります。 痛み止めの内服が始まります。		
検査	血液検査があります。					
安静度	制限はありませんが、外出や病棟を離れる際には看護師にお知らせください。		ベッド上で安静です。 	痛みの状況を見ながら歩行が可能です。初めて歩く時は看護師が付添います。	歩行に制限はありません。 	
食事	21時以降は食事はとれません。飴やガムも食べないで下さい。 	食事は摂れません。 飲水に関しては、医師より指示があります。	食事は摂れません。 手術後4時間経過して、口渇があれば、うがいができます。	朝から水分は摂れます。 昼から食事が摂れます。		
清潔	シャワーを浴びることができます。 	一人でシャワーを浴びられる方は、起床後にシャワーを浴び、9時までに手術着に着替えます。		温タオルで体を拭き、手術着からパジャマに着替えます。	1日おきに体を拭きます。 	
排泄		手術室に行く前に、トイレを済ませて下さい。	手術中より尿を出す管が入っています。	朝、尿の管を抜きます。その後は歩いてトイレに行かれます。		
説明	入院、手術についてのオリエンテーションと主治医、麻酔科医、手術室看護師から説明があります。		主治医より手術の結果等説明があります。 			看護師より5日目頃から退院後の生活に関する説明があります
その他		医師が手術する腕に間違いのないように印をつけます。 手術室入室前に義歯、コンタクト、ウィッグ、アクセサリをはずしてください。		看護師が適宜傷口から繋がっているバックの中身をチェックします。		

上記は予定となりますので変更となることがあります。その都度ご説明します。